

第2期蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について (令和5年度時点)

1 第2期蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

これまで、総合戦略は総合計画とは別々に策定されていましたが、第6次蘭越町総合計画から、同計画内の実行計画（重点施策）として、統合されました。

総合戦略は、人口減少対策や地域活性化を目的として、まちづくりに係る全ての分野から横断連携的な視点で施策を位置づけています。（第6次蘭越町総合計画P4～P5参照）

また、この度、同施策の進捗状況や達成状況の把握、見直しを行うため、取組期間4年目となりました令和5年度について、下記のとおり取りまとめました。

なお、同取組結果につきましては、令和7年2月28日（金）に開催しました「蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」にて、各委員より評価していただきました。

今後も同会議を通じ、総合戦略の達成状況や見直しを行い、町行政を推進してまいります。

2 戦略期間

令和2年度～令和6年度

3 重要業績評価指標（KPI）

全26項目

※第6次蘭越町総合計画P78～P92参照

4 目標を達成した指標（令和5年度時点）

14項目

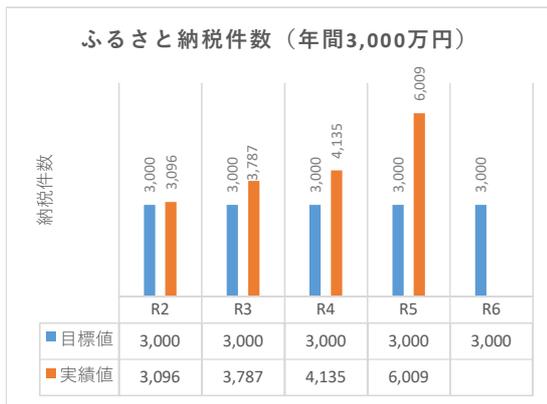
5 目標が未達成の指標（令和5年度時点）

第2期蘭越町総合戦略取組結果（重要業績評価指標）

番号1

成果・実績等

目標達成



当初予算目標6,000万円を達成することができました。

達成

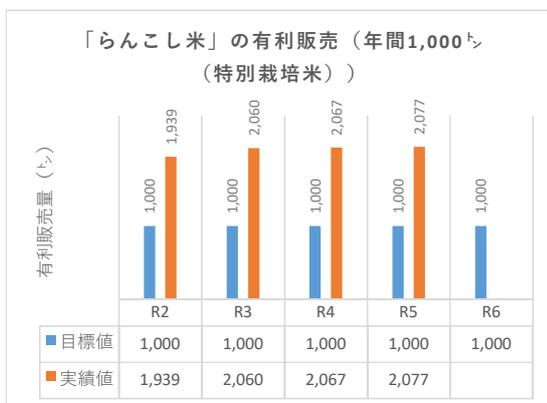
次年度以降

継続

番号2

成果・実績等

目標達成



水稲圃場ケイ酸資材投入事業として、高品質米の生産技術を促進するため、資材購入に係る費用助成を行った。

また、米-1グランプリにおいては、「らんこし米」がグランプリを獲得し、良食味米としての評価を得た。

さらに、「らんこし米」のPRと販路拡大を目的に、大手旅行会社に普及事業業務の委託を行った。

【担当課 農林水産課】

達成

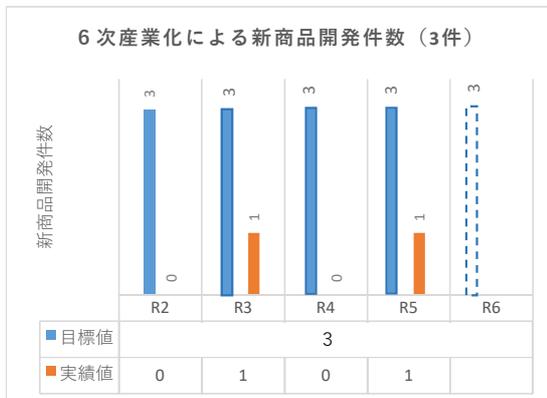
次年度以降

継続

番号3

成果・実績等

目標達成



商工労働観光課

ワイナリーが1件追加された。

また、6次産業化ではないが、産学官連携により栽培された下阿達（しそ）や薬草（ひきおこし）を使用した商品が令和5年度に4点リリースされた。しそ（ジン、ハーブティ、ジュース）、薬草（ひきおこしトニックウォーター）

【担当課 商工労働観光課、農林水産課】

未達成

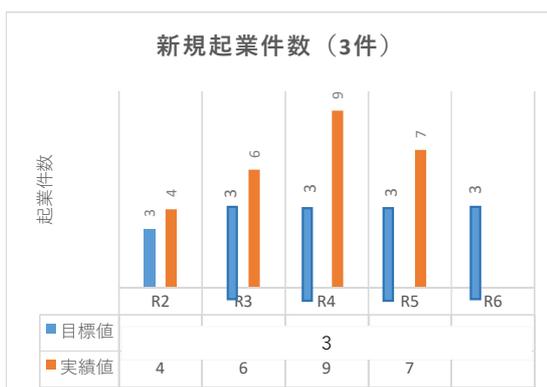
次年度以降

継続

番号4

成果・実績等

目標達成



令和5年度における当町への開業届の提出は7件であった。

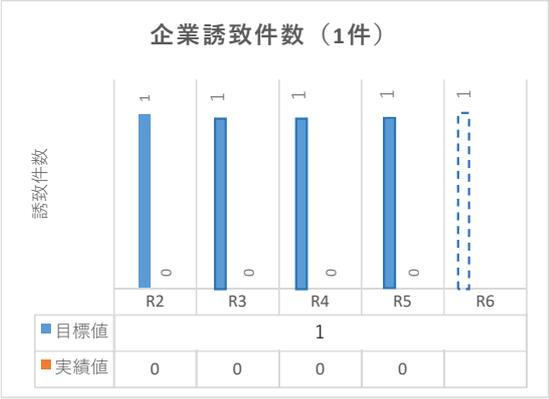
新たに創設された蘭越町創業支援補助金制度が起業を検討している方の後押しとなり、比較的高水準の実績値となった。

達成

次年度以降

継続

番号 5



成果・実績等

ニセコ観光圏（自然環境含め）という地理的優位性を活かし、宿泊業を営む事務所をはじめとした企業誘致を推進することとしているが、予算措置等はされていない。
 こういった現状であるが、令和6年度以降企業誘致に関するノウハウ等を学び、本格的な事業化に向けて取り組む予定である。

【担当課 総務課】

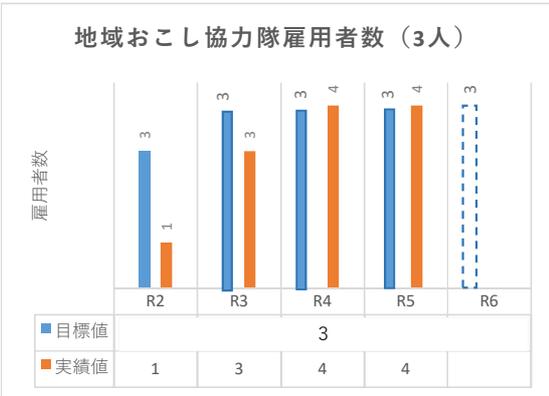
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号 6



成果・実績等

総務課
 令和5年度も、令和2年度に採用となった定住支援員1名に、継続して移住相談や空家調査等に従事してもらった。
 商工労働観光課
 商工振興支援員として商工会へ派遣する地域おこし協力隊を採用し、商店街の再生及び地域振興事業の活性化を図った。
 4年度から引き続きキャンプ場管理人を配置し利用拡大に努めた。
 5年度末に任期を終える協力隊員についても、6年度以降も会計年度任用職員として町にとどまり、地場産業振興に尽力いただけることとなった。

【担当課 総務課、商工労働観光課】

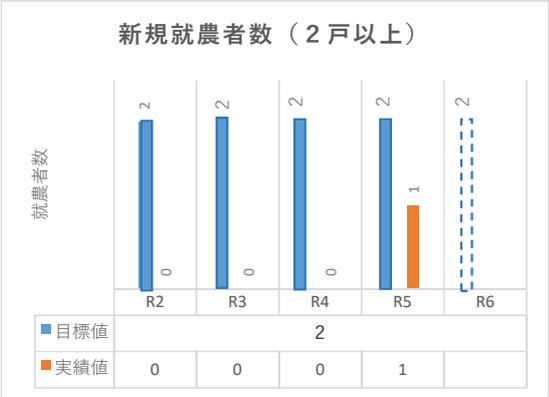
目標達成

達成

次年度以降

継続

番号 7



成果・実績等

新規就農者受け入れの募集について、町ホームページを通じ、また、地域おこし協力隊の協力を得て、周知に努めた。
 また、新規就農フェアに参加し、トマト栽培による研修をPRし、12人の方に説明した。

【担当課 農林水産課】

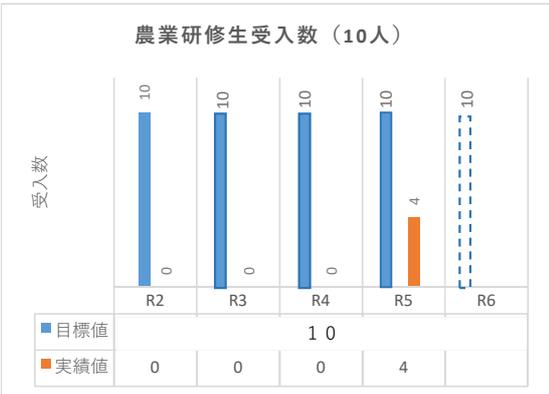
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号 8



成果・実績等

番号7と同様

【担当課 農林水産課】

目標達成

未達成

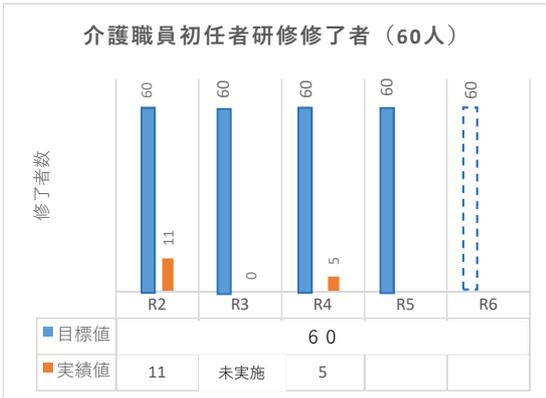
次年度以降

継続

番号 9

成果・実績等

目標達成



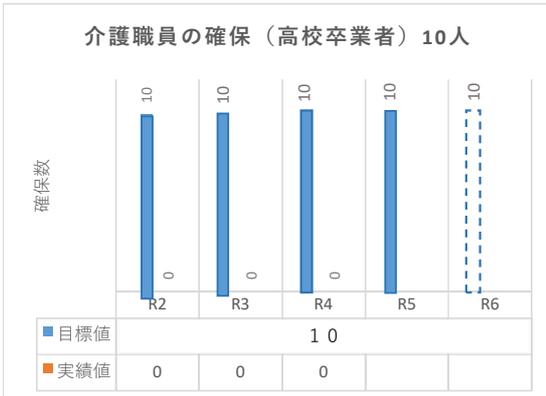
【担当課 健康推進課】

未達成
次年度以降
継続

番号 10

成果・実績等

目標達成



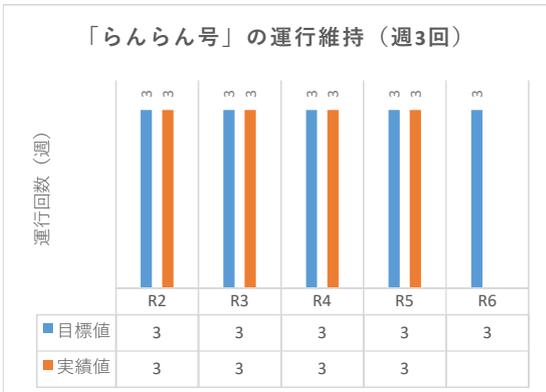
【担当課 健康推進課】

未達成
次年度以降
継続

番号 11

成果・実績等

目標達成



町民の交通利便性の向上を図るべく、平成30年度より運行路線を週2便から週3便に増便した。同年以降、週3便を維持することとし、J Rとの接続を可能とした時刻表に調整することで、利便性及び効率性の向上に努めている。また、令和5年度より、町内の地域公共交通の在り方について検討しております。

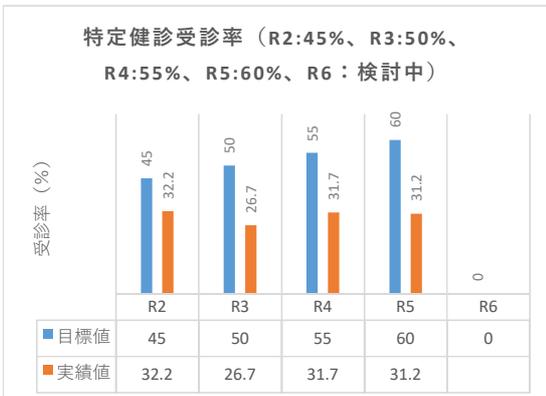
【担当課 総務課】

達成
次年度以降
継続

番号 12

成果・実績等

目標達成



特定健診未受診者対策事業として、北海道と国民健康保険団体連合との共同事業である「人口知能を利用した未受診者に対する受診勧奨」に加え、蘭越町独自で電話での個別勧奨を実施しました。令和5年度は前年度ミニドッグ受診者に自動申込みをするレポート受信や、札幌の対がん協会へ無料送迎バスで検診に行く検診ツアーを実施しましたが、令和4年度に比べると受診率が減少しました。様々な取組は受診率向上への効果があると思われることから継続して実施したい。

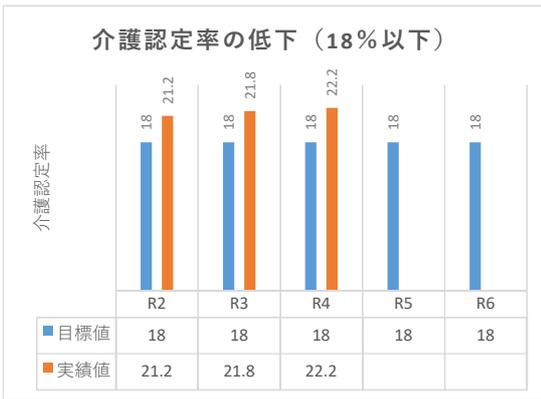
【担当課 住民福祉課】100

未達成
次年度以降
継続

番号 13

成果・実績等

目標達成



【担当課 健康推進課】

未達成

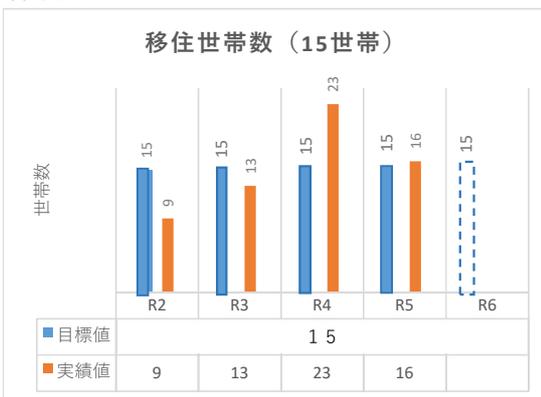
次年度以降

継続

番号 14

成果・実績等

目標達成



令和5年度に当町の移住相談窓口を利用し、移住した世帯は16世帯41名であり、空家利活用事業や公営住宅入居により、移住世帯確保に繋がっている。

【担当課 総務課】

達成

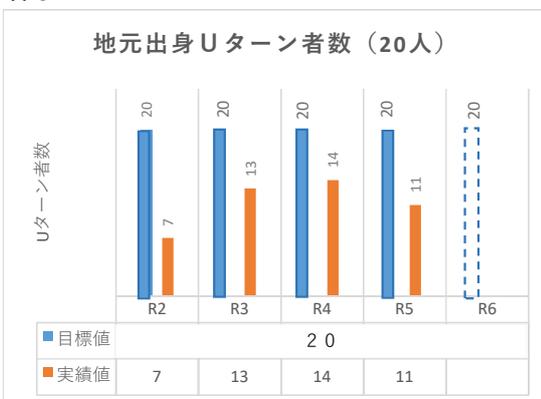
次年度以降

継続

番号 15

成果・実績等

目標達成



令和5年度におけるUターン者（町民であった者が、町外に転出後5年を経過した後に、再び住民登録を行った者）数は11名にのびた。

移住者だけでなく、Uターン者も利用できる補助金制度も継続して実施した。

【担当課 総務課】

達成

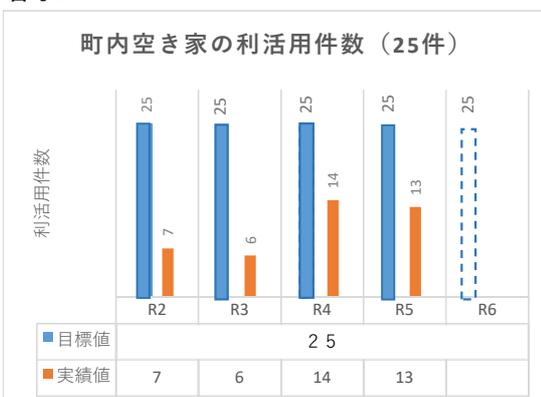
次年度以降

継続

番号 16

成果・実績等

目標達成



移住希望者等の受け皿として、増加する空き家の利活用を促進する事業を実施。

令和5年度は、11件の新規登録があり、13件の成約があった。

また、町内に所在する空家の調査についても、継続して実施し、状況の把握に努めた。

【担当課 総務課】

達成

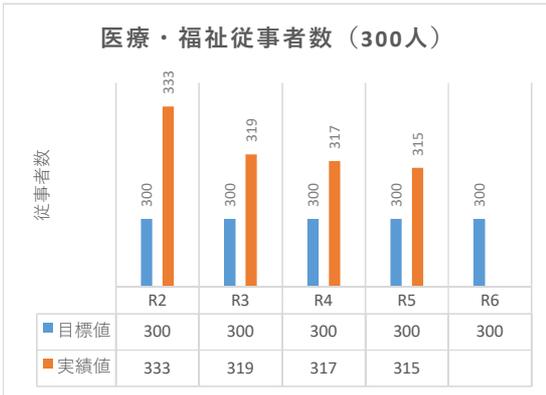
次年度以降

継続

番号 17

成果・実績等

目標達成



医療・福祉従事者の確保のための直接的な事業は実施していないものの、町内住宅の提供・斡旋を実施した。

特に単身者住宅については、一灯園や愛星学園の職員が入居しており、職員の確保に一定の効果을挙げている。

【担当課 総務課】

達成

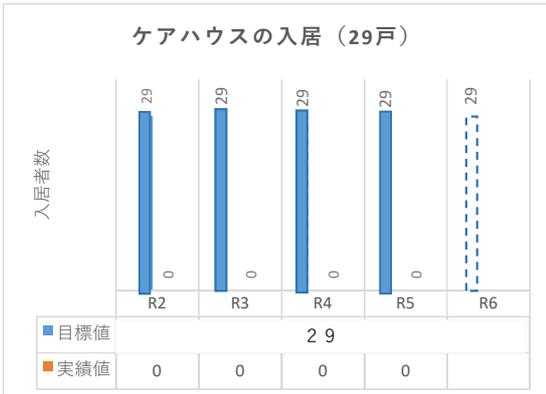
次年度以降

継続

番号 18

成果・実績等

目標達成



計画変更

【担当課 健康推進課】

未達成

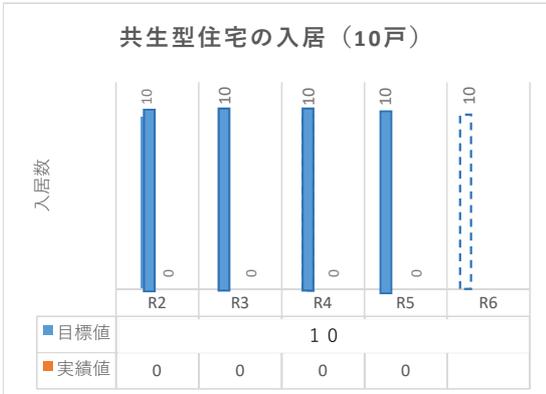
次年度以降

継続

番号19

成果・実績等

目標達成



計画変更

【担当課 健康推進課】

未達成

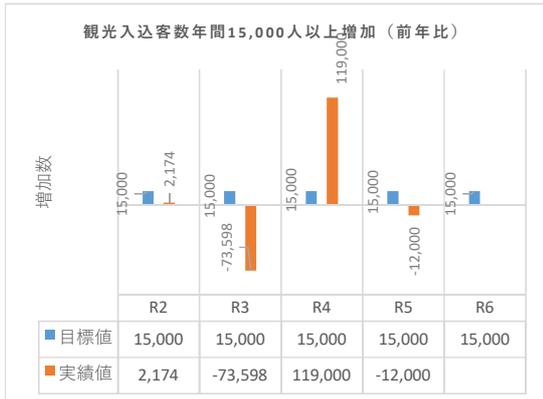
次年度以降

継続

番号20

成果・実績等

目標達成



観光客入込客数の減少は6月蒸気噴出の影響が大きい。

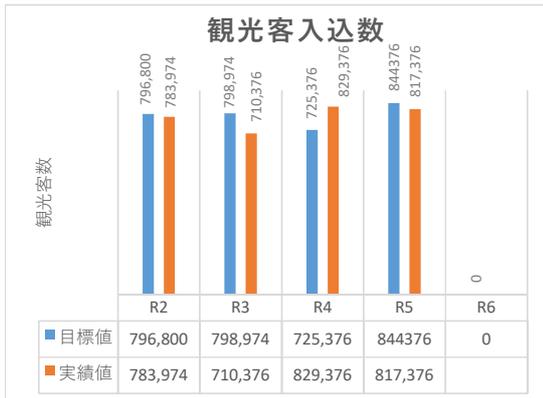
ニセコ観光圏協議会、ニセコ山系観光連絡協議会の構成町村として、登山道整備用の案内看板作成やニセコエリア観光パンフレット（湯沼ウォーキングMAP）の発行を行い、観光客増加に努めた。

未達成

次年度以降

継続

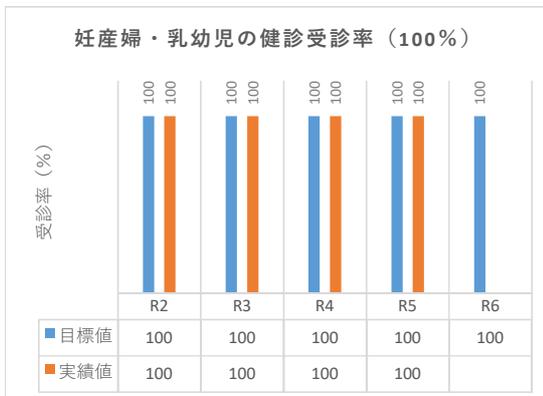
【担当課 商工労働観光課】



番号21

成果・実績等

目標達成



令和5年度の母子手帳交付件数は14名で、すべての妊婦の方が健康診査等を受診し、また、対象となる全ての妊産婦の方が妊婦一般健康診査等を受診し、医療機関までの交通費を助成した。

達成

次年度以降

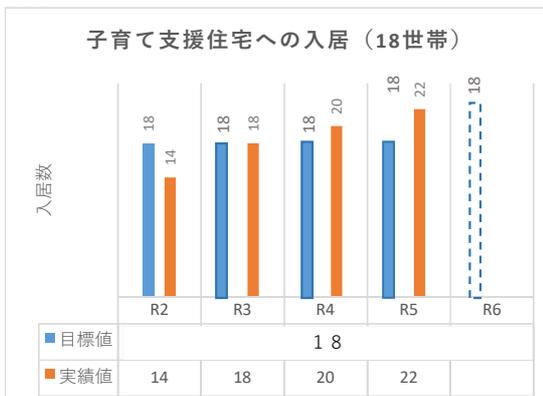
継続

【担当課 健康推進課】

番号22

成果・実績等

目標達成



建設資材の高騰により建設費が増大しているため、昆布子育て支援住宅2号棟（1棟6戸）の建設を保留している。

他方、提案型買取事業により整備した定住促進住宅（入居対象者は、子育て世帯又は40歳未満の夫婦世帯）は、5棟10戸すべての住宅が埋まっている状況である。

達成

次年度以降

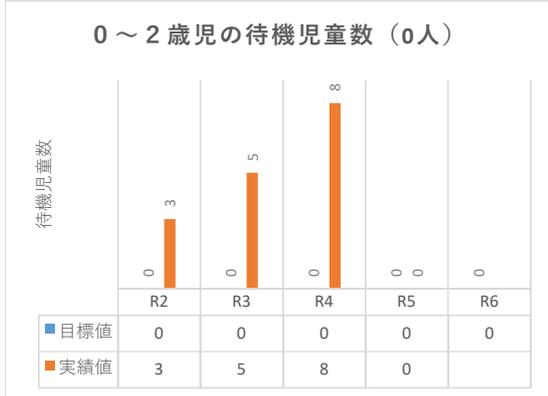
継続

【担当課 建設課】

番号23

成果・実績等

目標達成



子育て支援短時間利用事業の利用料金を一時保育の料金と同程度に引き下げたことで、割感のない利用しやすい事業となり、多くの利用者が引き続き登録及び利用している。

また、家庭的保育事業所の開設に係る支援（平成28年実施、平成29年開所）を実施し、平成29年8月から常時定員を満たしている。

さらに、待機児童支援助成事業を開始し、児童の預け先が確保されている（子育て支援短時間利用事業）ことから、児童の預け先がないことにより保護者が復職等できなかったケースはなかった。

【担当課 住民福祉課】

達成

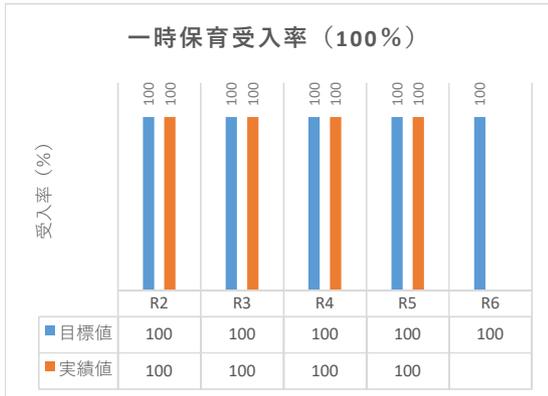
次年度以降

継続

番号24

成果・実績等

目標達成



子育て支援短時間利用事業の利用料金を引き下げたことで、当該事業を利用する保護者が増えた。

また、北海愛星学園に委託する子育て支援短時間利用事業は、土日の受け入れが可能のため、休日に就業する保護者等に対する子育て支援が出来る。

さらに、昆布保育所での一時保育利用状況は、H29年度0名、H30年度2名、R1年度1名、R2年度2名、R3年度2名、R4年度2名、R5年度2名となっている。

【担当課 住民福祉課】

達成

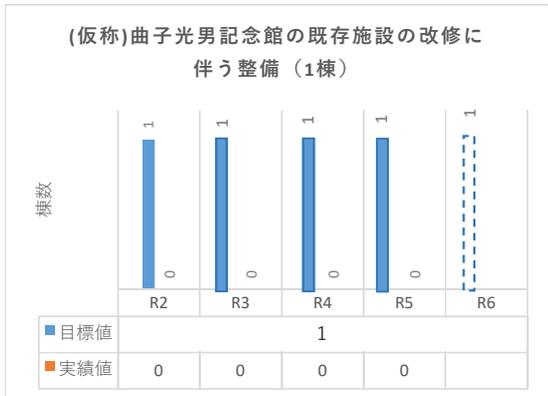
次年度以降

継続

番号25

成果・実績等

目標達成



当指標については、山村開発センターの改修に併せて、改修を検討しているところであります。

令和5年度においては、前年度の検討委員会の結果に基づき、内部で十分に協議を重ねて、次年度に向けて検討を重ねているところであります。

【担当課 総務課】

未達成

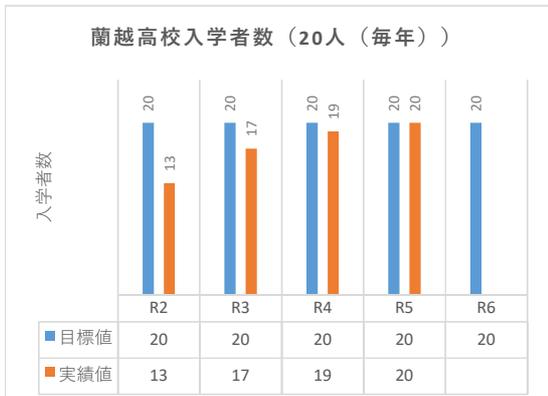
次年度以降

継続

番号26

成果・実績等

目標達成



蘭越高等学校教育支援事業（教科書購入費補助、J R・バス通学費用補助、各種検定等受験費用補助、大学・看護模試費用補助、制服補助、下宿、パンフレット・チラシ作成補助）を実施。

また、高校の英語の先生が中学校の英語授業に乗り入れし、また、町内の小学5年生と高校生が英語による交流を行う等、今まで以上に連携し英語教育の推進を図った。

達成

次年度以降

継続